

GLOBAL MARKET PLACE

---



# スピーカー紹介

株式会社スマートアプリ 代表取締役社長  
高 長徳

## 『略歴』

IT系コンサル会社を経た後、GMOメディアやYahoo!JAPANでコンテンツプラットフォーム事業、ドリコムやモブキャストでゲームプラットフォーム事業の立ち上げやプロデューサーなどを務める

## 2018年

7月 スマートアプリにて、ブロックチェーン事業を立ち上げる

10月 Dappsブラウザ搭載スマホ専用ウォレットアプリ『GO!WALLET』 iOSリリース

## 2019年

6月 『GO!WALLET』 Androidリリース

8月 国内初のNFTクレカ決済サービス『GO!Fiat』リリース

## 2020年

5月 ブロックチェーンプラットフォーム『GO BASE』リリース

10月 NFT発行・販売アプリ『NFTトレカ』をリリースし、アイドルグループ SKE48のNFTを販売

## 2021年

4月 国内初のNFT発行・販売・二次流通プラットフォーム『nanakusa』をリリース

5月 NFT事業コンサルティング及び、NFTマーケットプレイスOEM事業を発表



# スピーカー紹介

株式会社スマートアプリ プロデューサー  
中田 宜明

## 『略歴』

### 【主な活動】

- ・2020年5月～11月 podcast「off the record」  
=====
- ・NFT Release 3点内1点販売「CD:041921」
- ・5月1日～5月8日 バーチャル展示会「Try & Select」Cryptovoxels
- ・5月29日 NFT Marketplace, Nanakusa 通訳@clubhouse
- ・6月よりTEAM FRAMIN-GOにジョイン(marimosphere/take)
- ・7月9日～7月17日 CryptoArtWeek Asia in Tokyo主催

### 【ブログ】

- HiDE(2021年5月～)
- Note(2020年4月～)
- Dappsmarketでライター開始(2021年6月～)



# Global Market Place Chart



項目		nanakusa	Opensea	rarible	foundation	nift gateway	Atomic Hub	Hic et nunc	superrare	KnownOrigin
サービス開始		2021年3月	2018年月	2019年10月	2021年1月	2018年	2020年6月	2021年3月	2018年4月	2018年4月
チェーン対応		ETH, POLYGON	ETH, POLYGON	ETH	ETH	ETH	WAX	TEZOS	ETH	ETH
デジタルウォレット		METAMASK	METAMASK	METAMASK/Torus/Portis	METAMASK	METAMASK	WAX Cloud/Anchor	temple /galleon/kukai	METAMASK	METAMASK/Portis
サービス手数料		7.5%	2.5%	2.5%	15.0%	なし			15.0%	15.0%
キューレーション		有	無	無	有	有	無	無	有	有
二次流通クリエイター コミッション (最大)		クリエイター設定可能 (nanakusa手数料 2.5%)	10.0%	30.0%	10.0%	10.0%			10.0%	10% (Known Origin 手数料3%)
クレジットカード		△ (7月対応予定)	○	○	×	○	○	×	×	○
ファイル形式	静止画	JPG, PNG, GIF	JPG, PNG, GIF	PNG	JPG, PNG	JPG		JPG	JPG	JPG, PNG, GIF
	動画 音声	SVG, MP4, WEBM, MP3, WAV, OFF, GLB, GLTF	SVG, MP4, WEBM, MP3, WAV, OFF, GLB, GLTF	GIF, MP4, WEBP, MP3	MP4	MP4		GIF, mp4	mp4	mp4, webM
容量(mbs)		100	30	100	50			33 (最大)		75
コラボ収益分配機能		○	×	×	○	×	×	×	×	○
販売方式		固定額販売	固定額販売	時間限定販売	オークション	オークション	固定額販売	オークション	オークション	オークション
		オークション	オークション	固定額		サイレントオークション				
			ダッチオークション	時間無制限オークション		時間限定販売				
			販売期間							
			プライベートセール							

# Opensea

最大のNFTマーケットプレイス  
大型プロジェクトが多く参戦することが魅力

Opensea(<https://opensea.io/>)

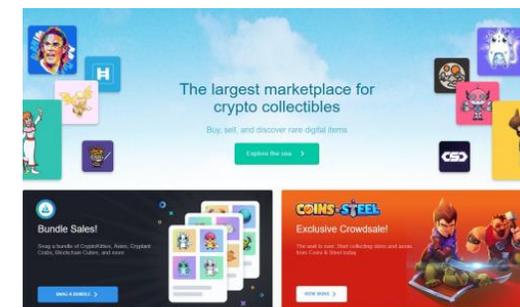
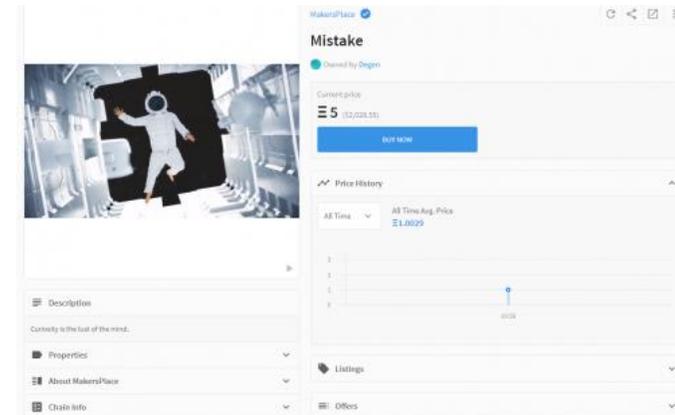
チェーン : ETH, POLYGON

創設 : 2017年

最も認知度の高いNFTマーケットプレイス。ETHを軸にPOLYGON MATICにも対応。移り変わりの激しいマーケットプレイス市場で次々のアップデートを進めることで根強い人気を維持。従業員21名(5月時点)。

5月のシェアでは、主要マーケットプレイスの中でユーザー数1.6%のみだが、コンスタントに50,000名近くのユーザーが利用。ETHのガス代高騰によりPOLYGONにも対応。

主なタイトル : Cryptopunks, Hashmasks, meebits



# Rarible

誰でも簡単にNFTを発行できるUIが魅力

Rarible (<https://rarible.com/>)

チェーン：ETH

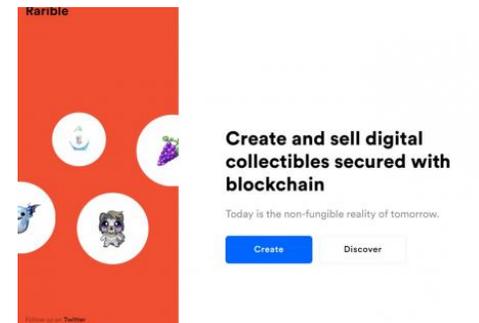
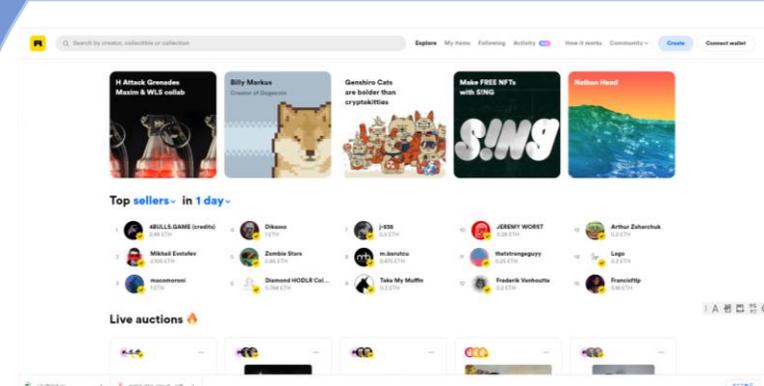
創設：2019年

誰でも簡単に発行できるユーザーインターフェイス。Openseaとも連動。

独自のインセンティブトークン 「RARI」発行。

5月のシェアでは、ユーザー数第5位、販売金額4位。

主なタイトル：1SEC バーチャルスニーカー



# SuperRare

アート性が強く、  
NFTあたりの販売単価の高いマーケットプレイス

SuperRare(<https://superrare.com/>)

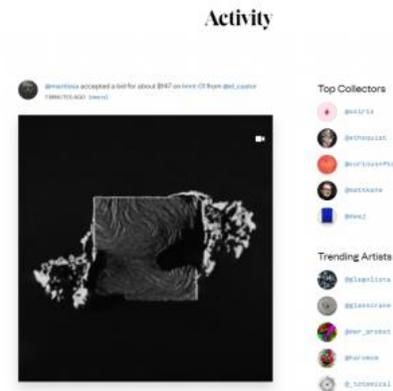
チェーン : ETH

創設 : 2018年

アート性が強く、NFTの販売金額が高いマーケットプレイス。

5月はウォレット数851のみでありながら、販売金額1.6%で3.5億円の売上を記録。

主なタイトル : Damian Hirst



MYSTIC

Edition 1 of 1

Over 1000000 people have  
collected this piece. It's  
the most popular piece on  
the platform. It's a  
limited edition of 1000000  
pieces. It's a limited  
edition of 1000000 pieces.  
It's a limited edition of  
1000000 pieces. It's a  
limited edition of 1000000  
pieces. It's a limited  
edition of 1000000 pieces.

1.648...

OWN UP TO COLLECT



# SuperRare

# KnownOrigin

クリエイターに寄り添うマーケットプレイス。  
データやメタバースなども活用。

KnownOrigin(<https://knownorigin.io/>)

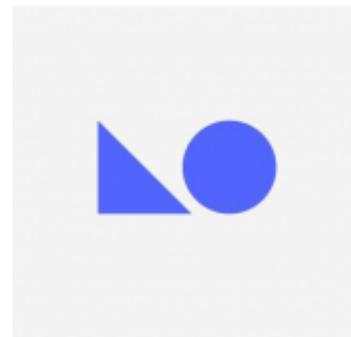
チェーン : ETH

創設 : 2018年

データを提供してクリエイターフレンドリーなマーケットプレイス。同時に CryptoVoxels/Decentralandなどのブースを展開してプロモーションにも力をいれている。

5月のシェアでは、ユーザー数第5位、販売金額4位。

主なタイトル : なし

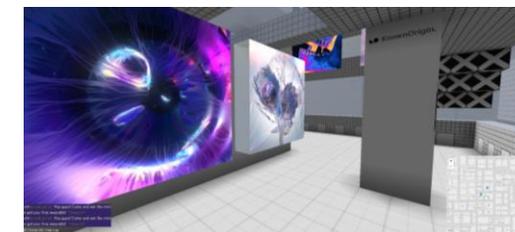
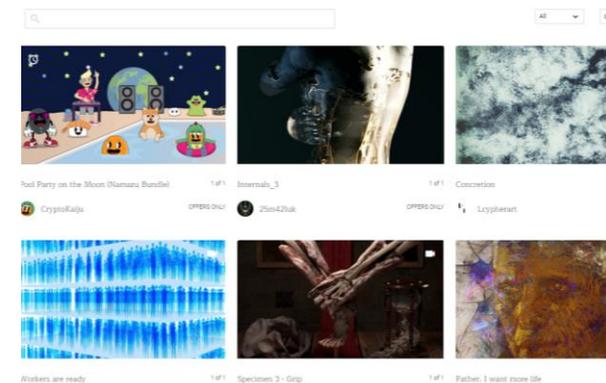


KnownOrigin

Gallery Droops Artists Collections More Activit

## Gallery

Discover rare artworks by world class artists or view the Marketplace



# NBA TopShot

NFTマーケットをリードする最重要コンテンツ  
独自路線（チェーン・マーケットプレイス）を展開

NBA Top Shot(<https://nbatopshot.com/>)

チェーン：FLOW

創設：2020年9月

Dapperlabs社がNBAと運営するデジタルトレードカード。NBAファンの取り込みに成功すると同時にNFTの売上に大きく寄与。独自のマーケットプレイスやチェーン(FLOW)を展開したこととクレジットカード決済を可能にしていることで圧倒的ユーザー数を誇る。

5月のシェアでは、販売金額こそWEBサイトなどのテクニカルイシューにより大きく売り上げを落としましたが、ユーザー数は178万人と依然増加減少。売上金額（3月）250億円を記録。

主なタイトル：NBA Top Shot



# Atomic Market

ユニークウォレットユーザー第二位  
WAX・集合型マーケットプレイス

Atomic Market

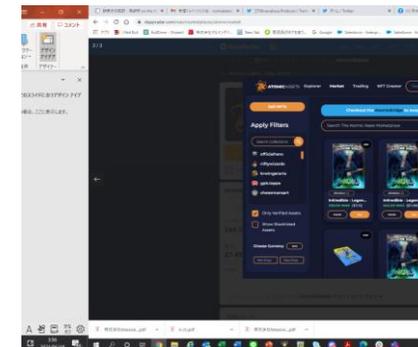
チェーン：WAX

創設：2020年7月

AtomicHub, NFTHIVEなどの複数のNFTマーケットプレイスの集合体。

5月はユーザー数4割近くを占めるマーケットプレイス。話題のタイトルを集めて集客を高める手法を取る。一方で売り上げは18%のみ。

主なタイトル：alienworlds, mlbtopps, infopioneers, streetfighter



# Hic et Nunc

## クリエイターの支持を得るテゾスマーケットプレイス

Hic et Nunc(<https://www.hicetnunc.xyz/about>)

チェーン : Tezos

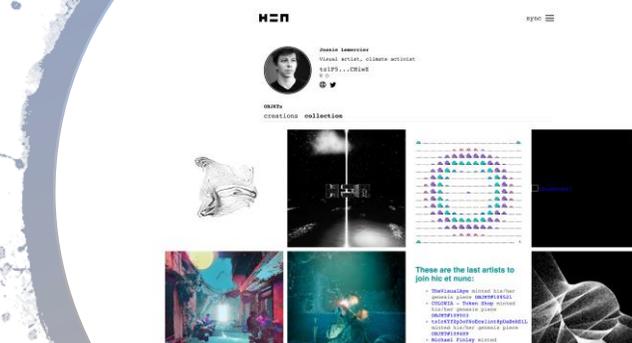
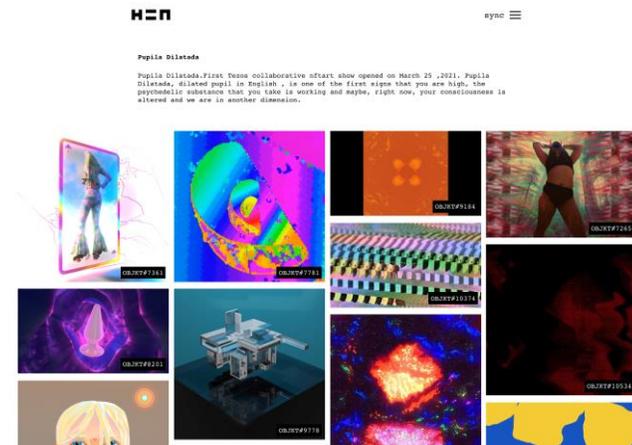
創設 : 2021年3月 **NEW**

2020年3月に新しく出来たマーケットプレイス。Tezosをチェーンとして利用していることからガス代が安く利用できることとUIのデザイン性がクリエイターに支持されている。

5月のシェアでは、ユーザー数で2.4%とOpenseaを上回る結果に（80,476名）、販売金額ではまだ1.3%なのでプロジェクトの取り込みとTezosのユーザーを増やすことが次の課題。

主なタイトル : なし

H=H  
N=N



# Foundation

## アートに特化した招待制マーケットプレイス

Foundation (<https://foundation.app/>)

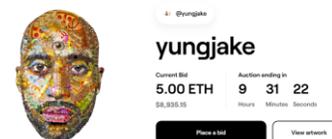
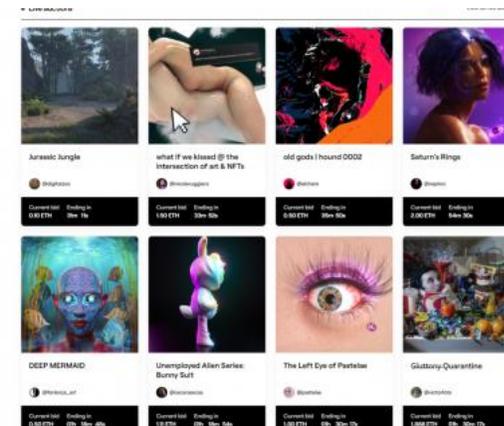
チェーン：ETH

創設：2021年月

クリエイターの招待によって参加ができるマーケットプレイス。アートに特化してキュレートされたUIなので見やすいが、サービス手数料が15%取られるので高めの金額設定を取られる傾向がある。

5月のシェアでは、ユーザー数で19,526名（全体0.6%）に対して販売金額は¥1,585万（7.2%）。3月・4月のピークを機に減少。

主なタイトル：なし



# Nifty Gateway

GEMINI傘下、著名アーティストやセレブが  
参加するアートや音楽のマーケットプレイス

Nifty Gateway (<https://niftygateway.com/>)

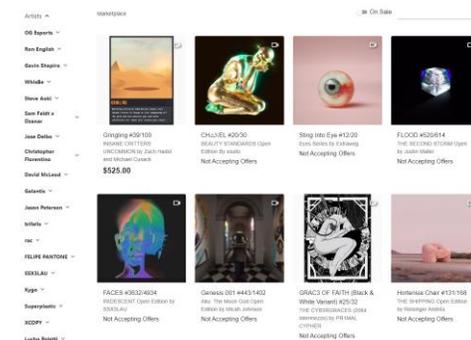
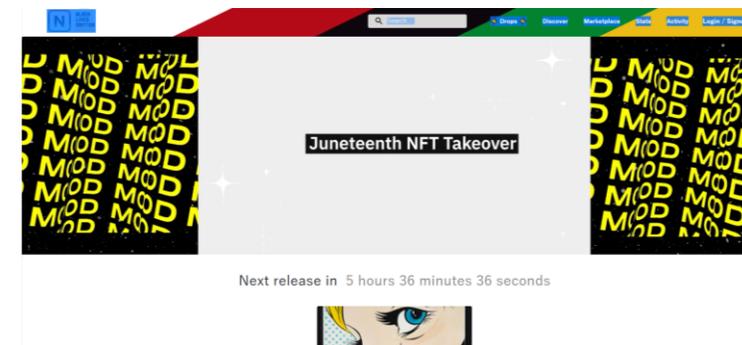
チェーン : ETH

創設 : 2018年

2018年よりサービスを開始する古参マーケットプレイス。クレジットカード対応もしており、著名アーティストの投稿があることから根強い人気を誇る。4月ではOpenseaと並ぶ月間50億円の売上を記録。

データを開示していないマーケットプレイス故にデータ不足（販売金額、3月：105億/4月:50.1億）

主なタイトル : Zedd, Calvin Harris, Eminem



# nanakusa

二次販売を備えた、日本初のクリエイター承認制NFTマーケットプレイス

nanakusa  
(<https://nanakusa.io>)

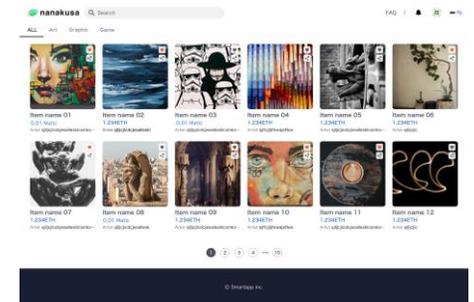
チェーン : ETH / Polygon

創設 : 2021年4月

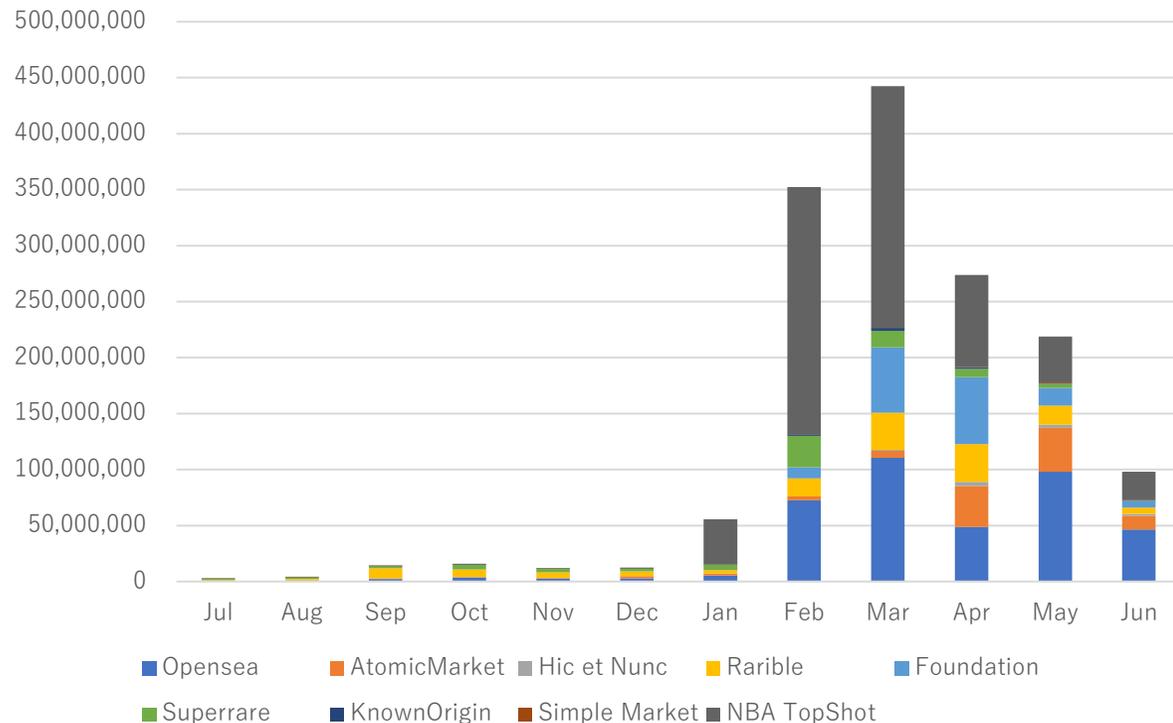
国内外でおよそ150名が公認アーティストとして、日々クオリティの高いアートNFTが売買されている  
また人気ブロックチェーンゲームNFTの二次販売なども行える。



nanakusa



# GLOBAL MARKET PLACE

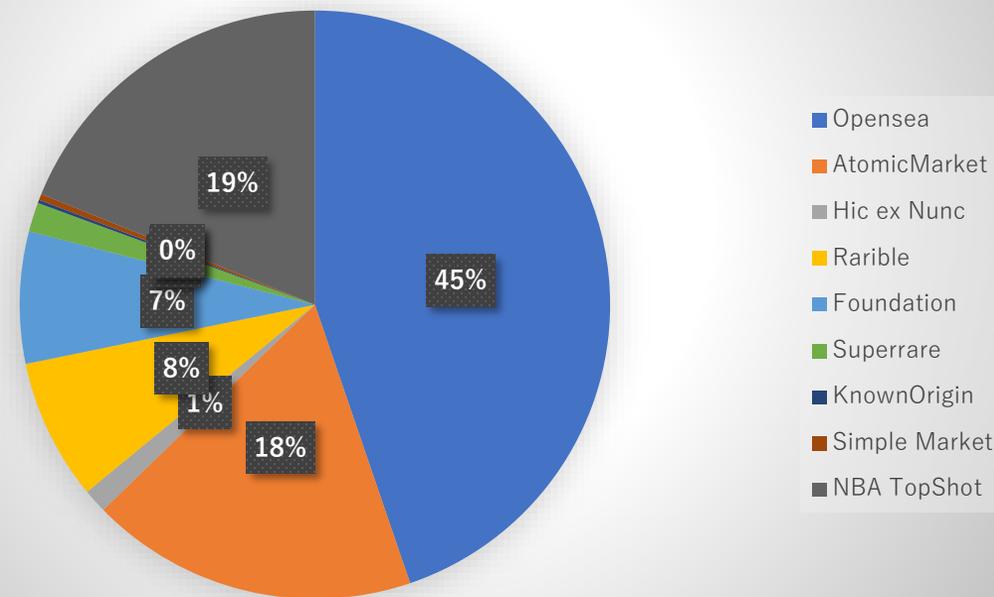


## 主要マーケットプレイス年間販売金額 (\$)

- ・5月の総販売金額は2.18億ドル
  - ・2月・3月は売上数が大きく伸びているが、これはNBA Top Shotが大きく寄与（実際の実力は60-100億/月）
  - ・NBA Top Shotの売上がテクニカルイシューにより減少（4月～5月、2月～3月は一部Botもあり値段つり上げの影響も）
  - ・Openseaは依然販売金額では一番だが、Collectibles次第で大きく売り上げ変動（4月はGas代問題もあり）
  - ・クレジットカード決済対応のチェーン（NBA Topshot/WAX/Openseaなど）が売上を伸ばす傾向に
- \* 6月数字は6月16日までの数字

\*data source from dapper lab

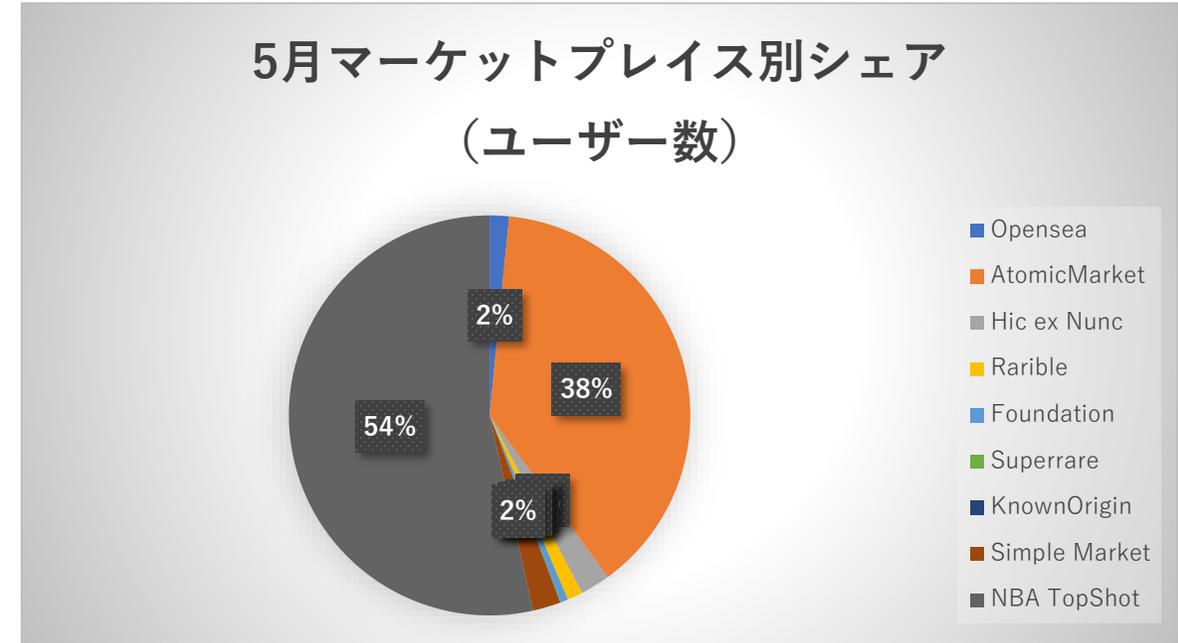
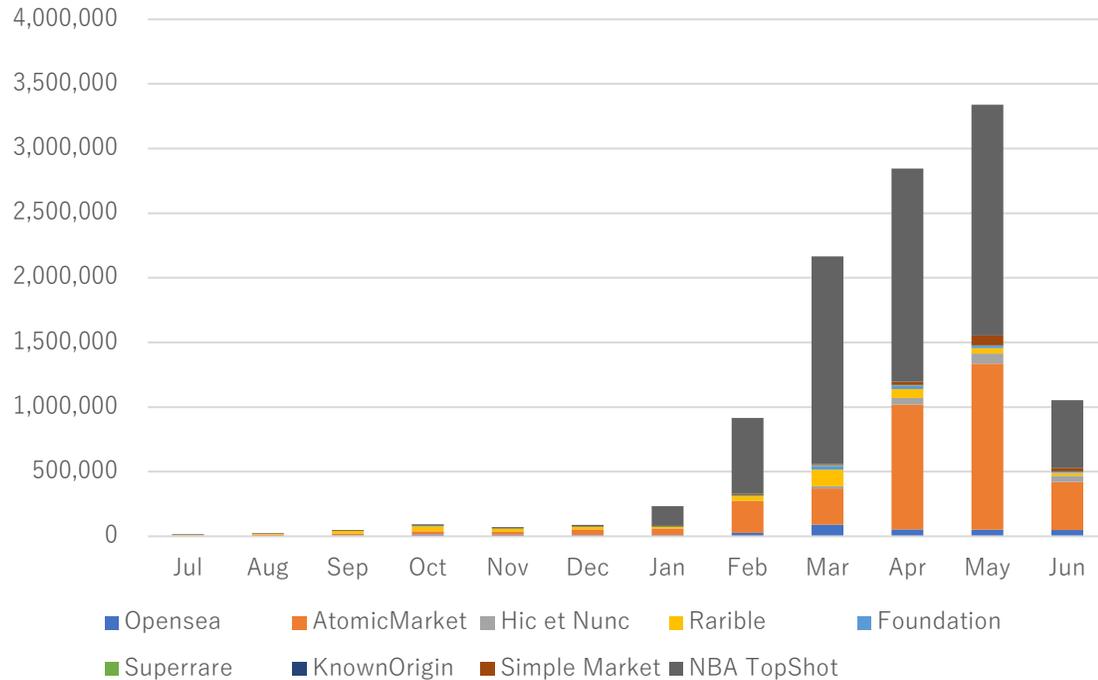
## 5月マーケットプレイスシェア (販売金額\$)



## 5月主要マーケットプレイス別シェア (販売金額、\$)

- ・NBA Topshotの落ち込みによりOpenseaが販売金額のシェアで45%近くに伸ばす。理由はCollectibles(Cryptopunks, Meebits)
- ・シェアランキング：  
Opensea>NBATopshot>AtomicMarket>Rarible
- ・AtomicMarketはユーザー数としては売上低い傾向に（5月：ユーザー数38.4% vs. 販売金額17.9%）
- ・5月に新興勢力として出てきたHic et Nuncはシェア1.3%（5月のみ）

# GLOBAL MARKET PLACE



## 主要マーケットプレイス・ウォレットユーザー数 (人)

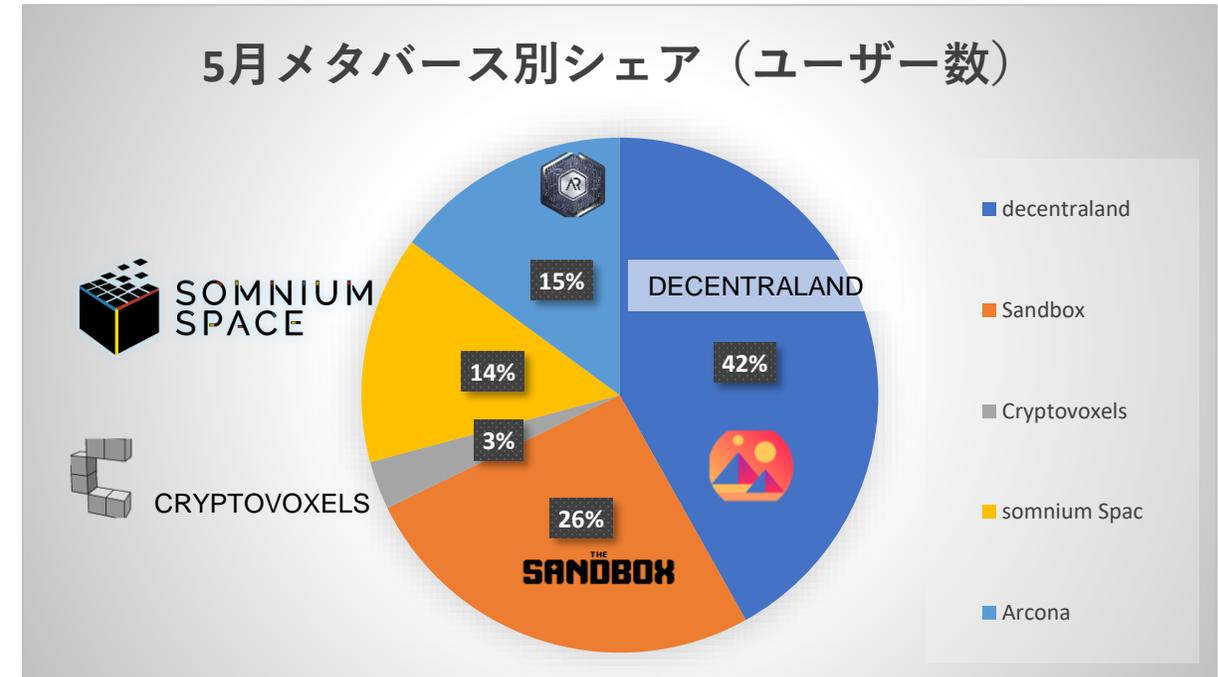
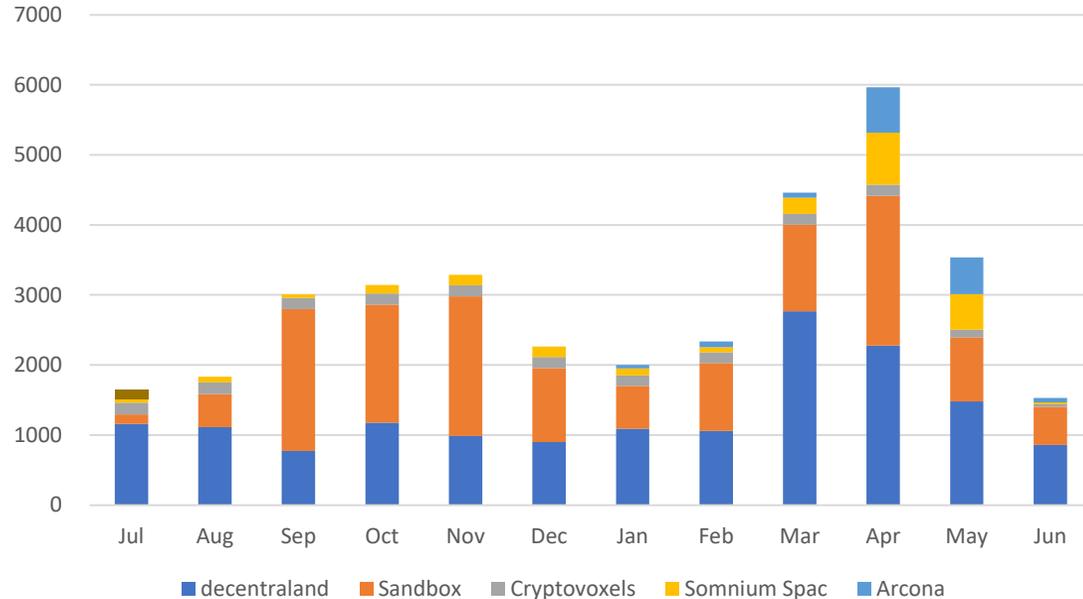
- ・5月の総ウォレットユーザー数：338万人
- ・9割のシェアをNBA Top Shot, Atomic Marketで占める
- ・Open Seaは平均53,100 (Apr-May) でガス代高騰の影響を受けてシェアを落とす結果に
- ・NBA Top Shotは順調にユーザー数を増やして5月は178万人のユーザー数
- ・Atomic Marketは急激に直近2カ月で伸ばして現在128万人 (vs. 3月+356%)
- \* 6月数字は6月16日までの数字

\*data source from dapper lab

## 5月主要マーケットプレイス別シェア (ウォレットユーザー数、人)

- ・9割のシェアをNBA Top Shot, Atomic Marketで占める
- ・その他のマーケットプレイスではテゾスのHic et Nuncが2.4%で奮闘。UIの見せ方などがクリエイターより指示されて利用者が増えて5月は80,476名の利用。
- ・Raribleは5月Openseaに近い数字で、41,300名  
→ アップデートを行い容量を100mbなどに対応
- ・Simple Market(WAX) が5月に大きく伸ばして75,104/月

# METAVVERSE MARKET USERS



## 5大クリプトメタバース・ウォレットユーザー数 (人)

・4月ウォレットユーザー：3,535

・最も多いシェアはdecentraland- 41.9% (vs. 2020 +4.1%)

・ARメタバース Arconaの躍進によってCryptoVoxelsが大きくシェアを奪われる傾向に (vs. 2020 **-15.9%**)

理由：運営組織がコンパクト故に開発パーセル（土地）が少ない

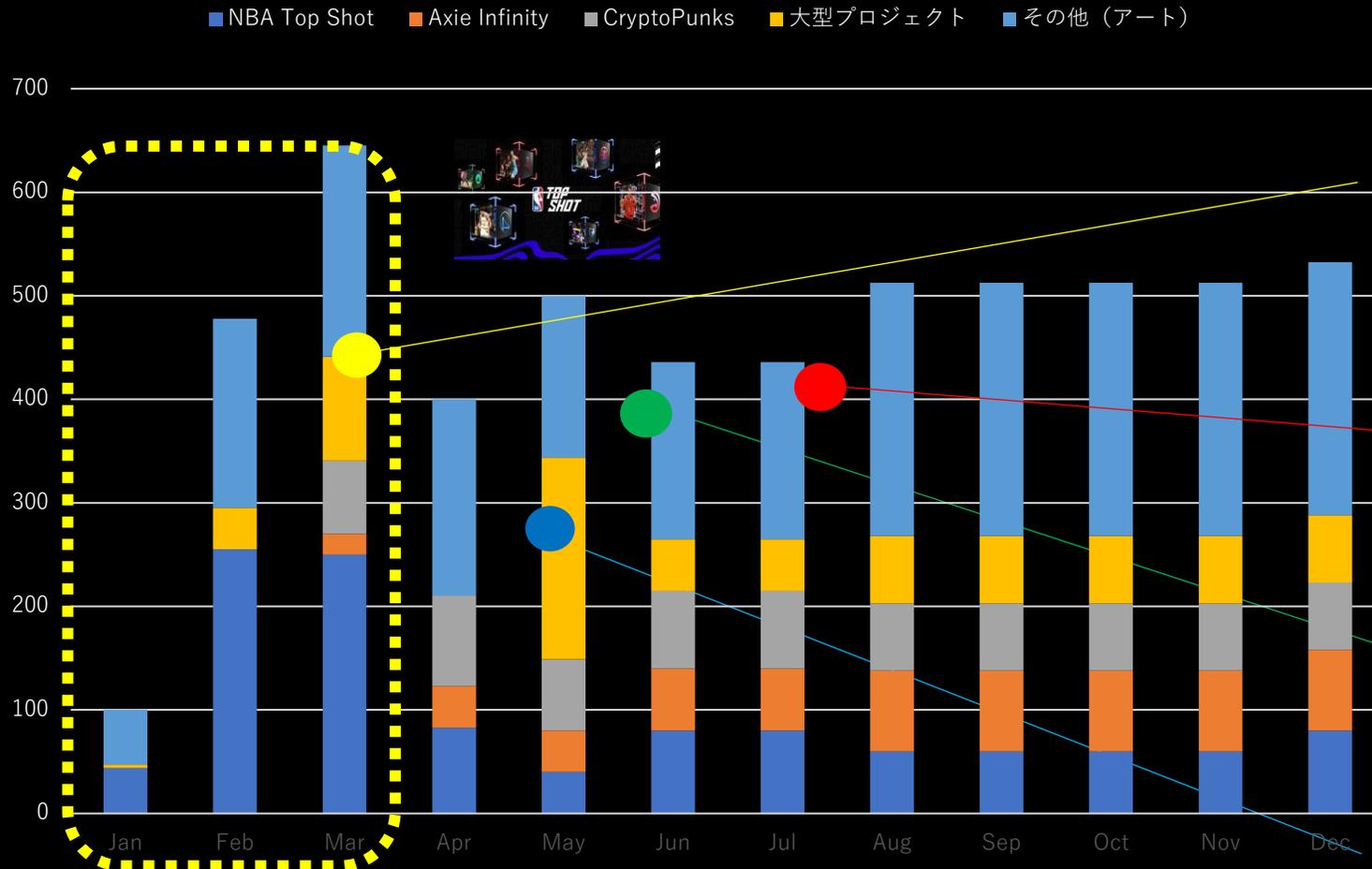


\*data source from dapper lab

補足資料

# 市場規模予測：5,533億円（前年+1,480%）

## ～2021年NFT市場は15.8倍成長～



\*data source:Dappradar, 自社調べ

NFTのブームによって売上が1,170億円  
47%の売上がNBA Top Shot  
3月以降はユーザーが急激に増加  
5月 vs. 1月 ユーザー数 +277%

### 大手国内企業夏以降参入

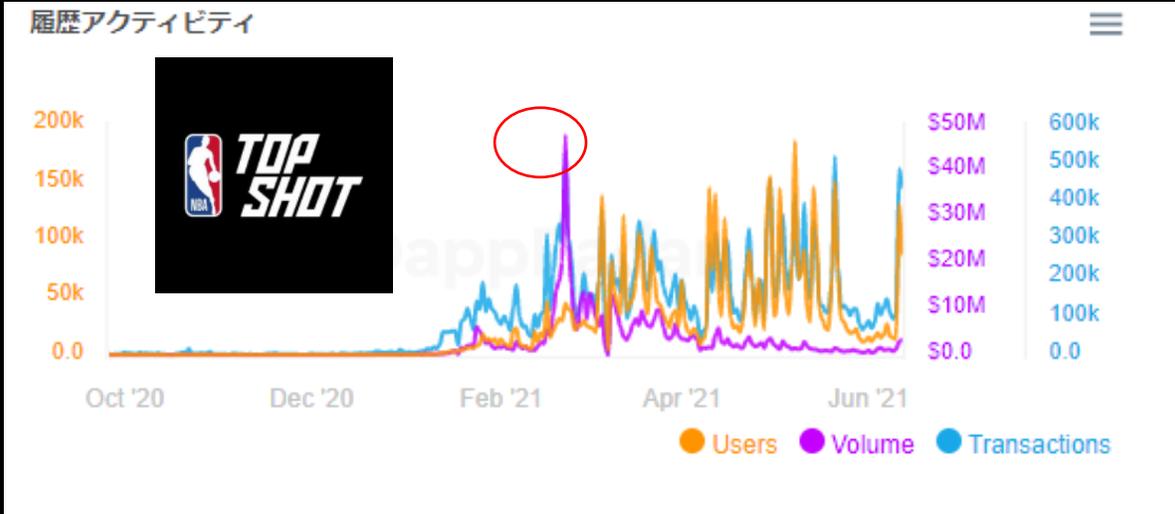


大手ブロックチェーン「Binance」NFT市場参戦



4月・5月、売上減少理由：  
NBA Top Shot 売上減少（83億円→40億円）  
5月はETHの価格減少（1ETH 40万円→23万円）  
ガス代高騰によりトランザクション減少

## NBA Top Shot 【年間】 2020年10月～6月 \$ 売上



### 【要点】

- ・ユーザー数・トランザクションは一時期のテクニカルエラーなどの減少から回復
- ・Volume（売上数）は6/11～回復傾向にあり（1日3億円前後）  
→HOLO ICON + NBA PLAYOFFを考慮するとこの数字はこの先続く可能性有

## NBA Top Shot 2021年5月16日～6月12日 \$売上



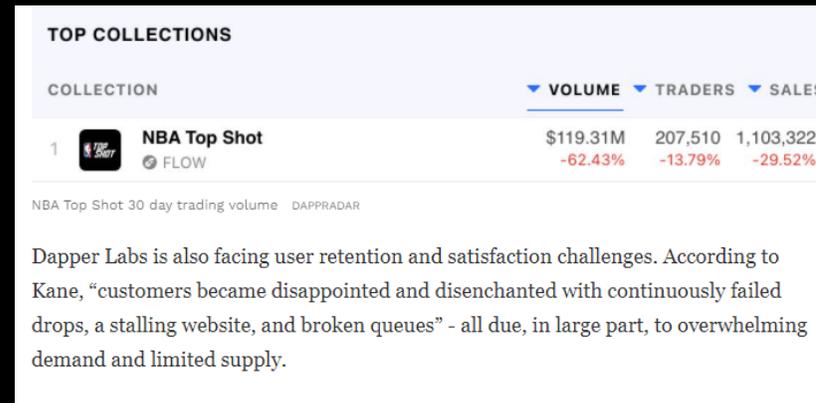
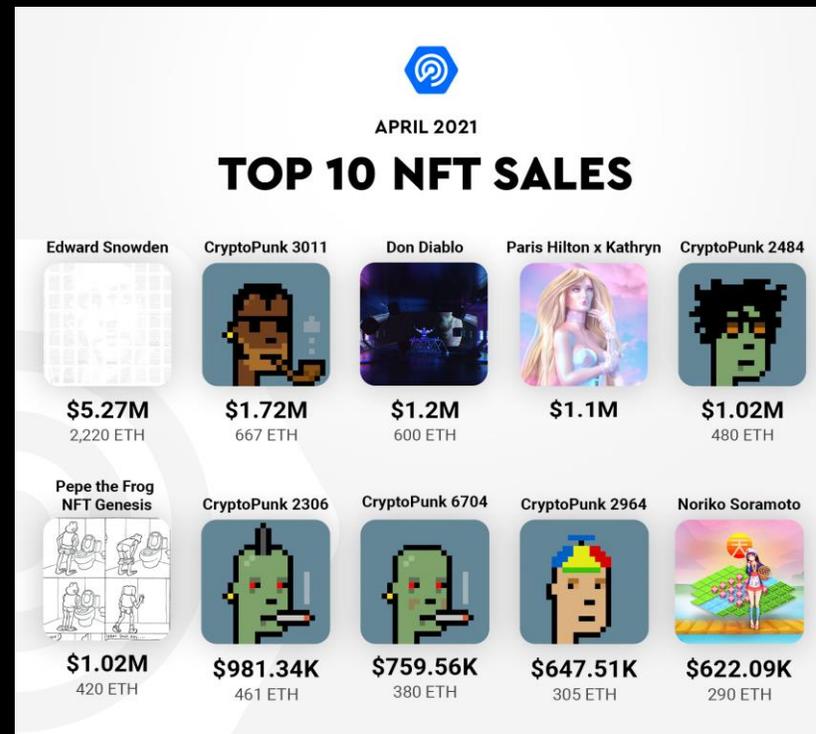
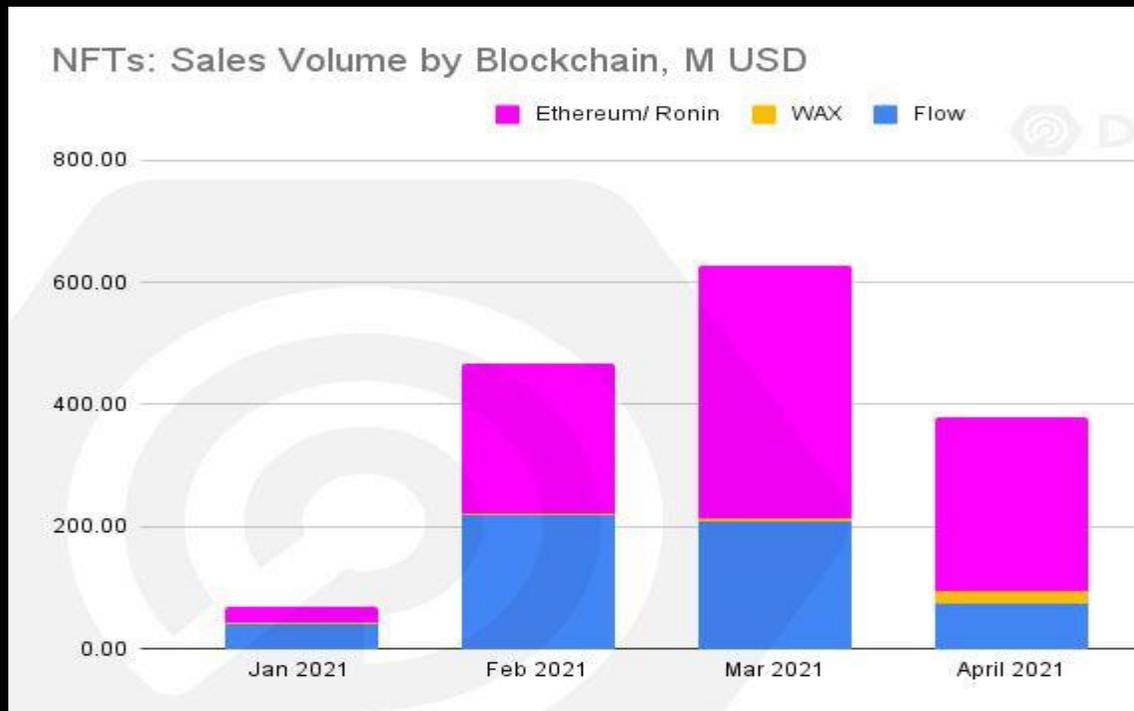
### 【今後の予定】

- ・6月17日にHOLO ICON DROP(#2,500)
- ・NBA プレイオフ・ファイナル ～7/22
- ・NBA Draft 7/29  
\*6月11日・6月12日と売上が1日3億円前後
- 1日～10日（計10日×1億円）=10億円  
+11日～30日（計：21日×3億円）=63億円

**6月着地：73億円+@(Secondary Sales次第)**



# NFT4月の売上は-38% & TOP 10 NFT SALESの半数はCryptopunks

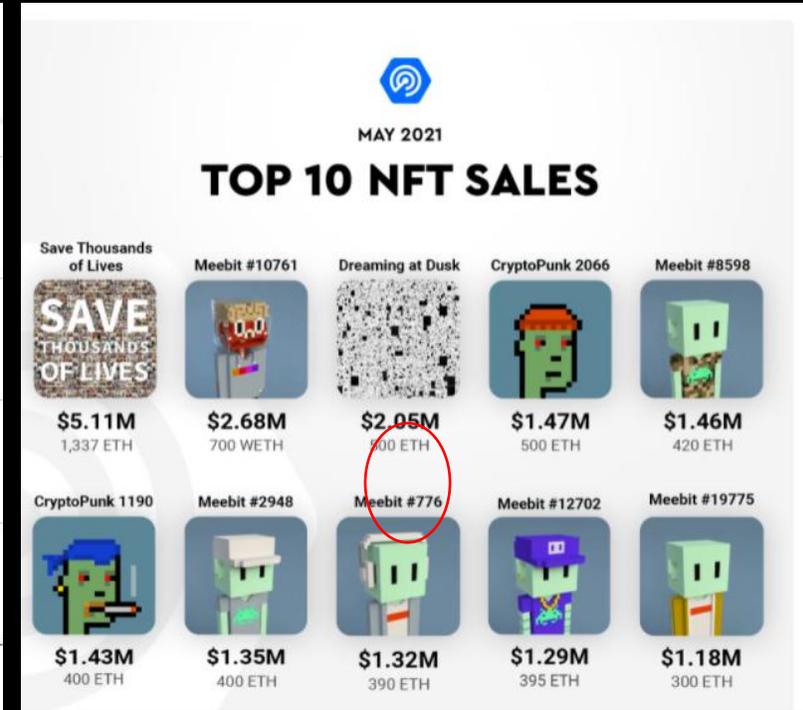
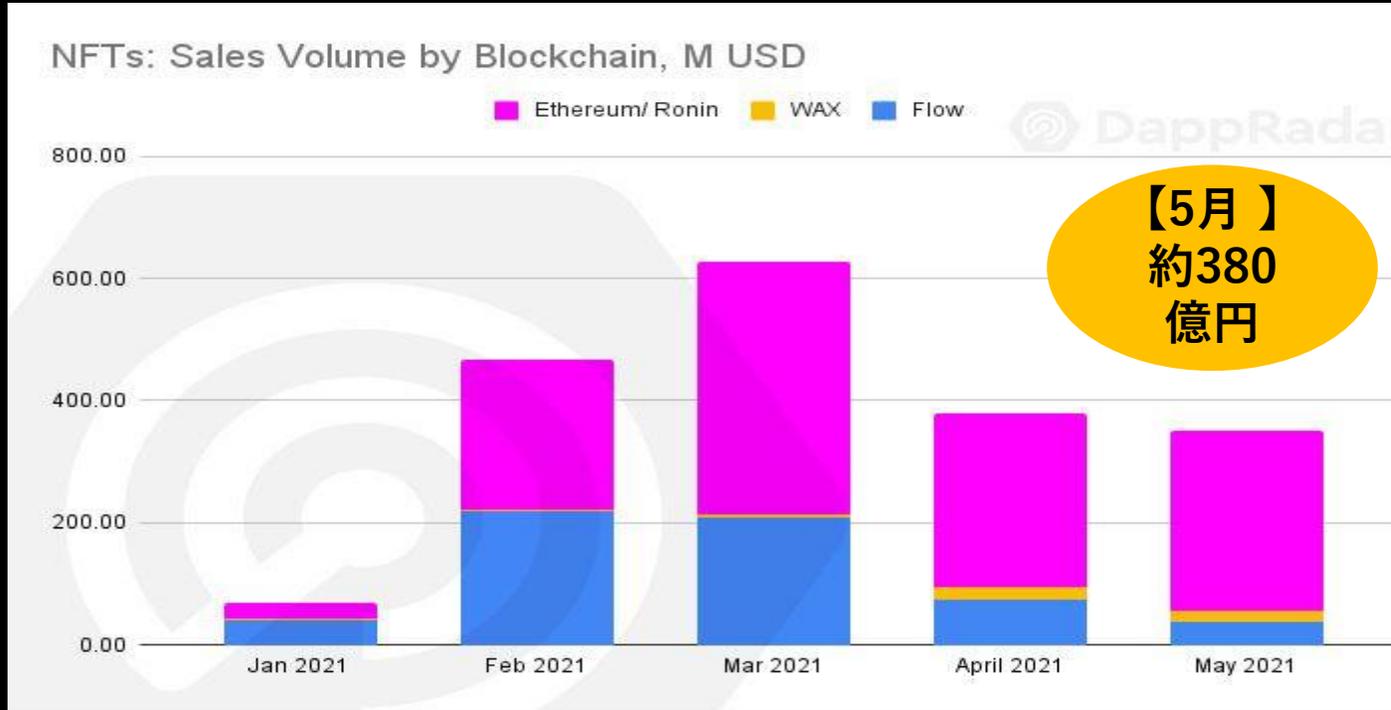


## 【4月 NFT販売状況】

- ・ 3月に比べて4月は38%の売上減少（約400億円）
- ・ NBA Top Shotのユーザー数増加に伴い、ウェブサイトが度重なって落ちたりするテクニカル 이슈によって売上が激減（217億→83億、-62.4%）
- ・ Opensea と Raribleを中心にNFTの取引も減少
- ・ TOP 10の半数はCryptoPunk（vs.先月 取引額+19%）



# NFT5月の売上は-5% & TOP 10 NFT SALESの8/10はCryptoPunk+Meebits



## 【5月 NFT販売状況】

- ・4月に比べて5月は-5%の売上減少（約380億円）
- ・NBA Top Shotは4月に継続して売上が減少。リニューアルやサイトイシューに伴い、売上が継続して減少（83億→40億、-50%）
- ・チェーンのユニークアクティブウォレットの8割はWAX, BSCが獲得
- ・TOP 10のNFT Sales 8/10はCryptoPunk, Meebits
- ・アクセス数は増加しているが、ETHの価格が下がったこともあり、販売価格が減少



May \$9.4 mil → Apr \$2.6mil (vs. -72%)  
\*WAX



May CryptoPunks: \$69 mil (vs. -21%)  
\*ETH

# NBA TopShot

NFTマーケットをリードする最重要コンテンツ  
独自路線（チェーン・マーケットプレイス）を展開

NBA Top Shot(<https://nbatopshot.com/>)

チェーン：FLOW

創設：2020年9月

Dapperlabs社がNBAと運営するデジタルトレードカード。NBAファンの取り込みに成功すると同時にNFTの売上に大きく寄与。独自のマーケットプレイスやチェーン(FLOW)を展開したことでクレジットカード決済を可能にしていることで圧倒的ユーザー数を誇る。

5月のシェアでは、販売金額こそWEBサイトなどのテクニカルイシューにより大きく売り上げを落としましたが、ユーザー数は178万人と依然増加減少。売上金額（3月）250億円を記録。

主なタイトル：NBA Top Shot

